



2024年秋の読書週間

糸島市立図書館員おすすめの本



糸島市立図書館員が選んだおすすめの本を紹介しています。ぜひ、手に取ってご覧ください。



糸島市図書館本館 ☎092-321-1432

糸島市図書館二丈館 ☎092-332-2118

糸島市図書館志摩館 ☎092-332-2119

(<https://itoshima.libweb.jp>)

◇一般書◇



『100万回死んだねこ』覚え違いタイトル集

福井県立図書館／編著

講談社 2021.10 (015.2比) 本館所蔵

図書館ではよくある光景。ページをめくるうち面白くてツボにはまってしまった。あなたもクイズしながら何の本か考えてみてください。後半は難題ぞろいで司書泣かせ。でも難しいほどわかった時の喜びは大きいのです。

◇一般書◇

出版社の都合により
書影掲載不可

『知りたいこと図鑑』

みっけ／著

KADOKAWA 2023.8 (031.8≒) 本館所蔵館

知りたいこと、覚えておきたいこと、知っているとちょっと嬉しくなること。それらが詰まった教養雑学図鑑です。雨を表す日本語は飴のモチーフで描かれるなど、表紙からもデザイン性の高さが窺えます。見て読んで楽しめる一冊です。

◇一般書◇



『室町は今日もハードボイルド』日本中世のアナーキーな世界

清水克行／著

新潮社 2024.1 (B210.4) 二丈館・志摩館所蔵

この本によると室町は最も無秩序な時代らしい。仲間内のルールと自己都合優先で、力が正義の社会。しかし、迷信や信仰、現実を取り混ぜての生き方は人間らしいともいえる。金閣寺やアニメ『一休さん』の室町観が塗り替えられた一冊。

◇一般書◇



『日本史に学ぶ一流の気くばり』

加来耕三／著

クロスメディア・パブリッシング 2019.3 (281カ) 本館所蔵

例えば、人前では絶対に部下を叱らなかった平清盛。できる人は気くばりも一流！その術は現代社会を生き抜くヒントとなり、歴史を学ぶ意義も改めて考えさせられる。個人的には、藤堂高虎に感服。反面教師の例もあり。

◇一般書◇



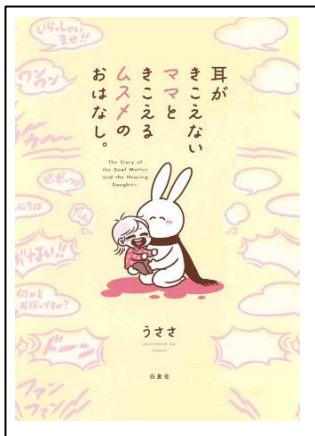
『バナナの魅力を100文字で伝えてください』誰でも身につく36の伝わる法則

柿内尚文／著

かんき出版 2021.12 (361.4) 本館所蔵

好きな物の魅力をうまく伝えられますか。バナナ好きなあなたは魅力を伝えるのに何文字使いますか。”甘い”2文字？論文を書けるほど？100文字が記憶に残りやすい、という作者の本。魅力伝わった？

◇一般書◇



『耳がきこえないママときこえるムスメのおはなし。』

うささ／著

白泉社 2023.11 (369.2㌥) 志摩館所蔵

「耳がきこえないこと」「親はきこえないけど、自分はきこえること」を、私は体験することも、完璧に想像することもできない。私の想像力を補ってあまりあることを教えてくれる—そんな本に、また出会うことができた。

◇一般書◇



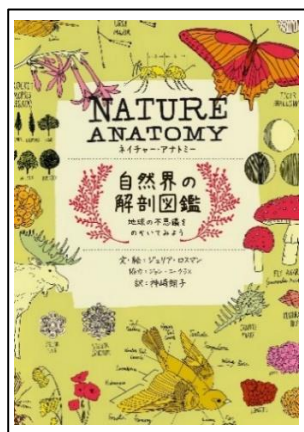
『去られるためにそこにいる』子育てに悩む親との心理療法

田中茂樹／著

日本評論社 2020.6 (371.4㌥) 本館所蔵

子の幸せを願ってるからこそ、親はあれこれ口出ししてしまう。しかし、子どもは一人ひとり、自分を幸せにしようとする、いわば本能のようなものを持っている。それを信じて見守ること。「親は子どもを笑わせるだけでいい」そうですよ。

◇一般書◇

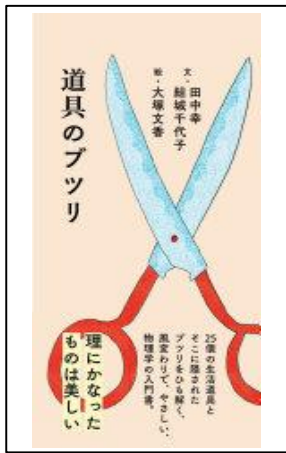


『NATURE ANATOMY (ネイチャー・アナトミー) 自然界の解剖図鑑』地球の不思議をのぞいてみよう ジュリア・ロスマン／文・絵

神崎朗子／訳 大和書房 2023.8 (404㌥) 志摩館所蔵

すぐそばにある身近なこと。地球上の植物、生き物、自然の中のいろんなこと。すごい。あたりまえのようにみていたけれど、ひとつひとつがつながっていく。イラストが語りかけてくる。どこを開いても楽しくなる。不思議、のぞいてみよう。

◇一般書◇



『道具のブツリ』

田中幸・結城千代子／文 大塚文香／絵

雷鳥社 2023.7 (420.4円) 本館所蔵

「理にかなったものは美しい」と言う、物理に共通している視点から、身近にあるモノたちがなぜ使いやすいのかを、ブツリに基づきわかりやすく説明しています。私のように物理が苦手だった人にも面白く読めますし、おしゃれなイラストも素敵です。

◇一般書◇



『街を知る』福岡・建築・アイデンティティ

松岡恭子／著

古小烏舎 2023.12 (M523.1円) 本館所蔵

日常とは少し違う空気が流れている場所や、一度見たら忘れられないシンボリックな建築・外観・デザインが紹介されています。名建築ツアーが全国でも人気ですが、まずはこの本片手に福岡の街歩きを楽しんでみませんか。

◇一般書◇



『段ボールはたからもの』偶然のアップサイクル

島津冬樹／著

柏書房 2018.12 (585.5円) 志摩館所蔵

世界各地を旅して、使い古しの段ボールを集めている筆者。それは、段ボールで「財布」を作るため。でも一番の理由は、段ボールがとにかく大好きだから！ 段ボール愛あふれる、とことんユニークな人生。読むとモノの見方が変わるかも。

◇一般書◇

出版社の都合により
書影掲載不可

『教養としてのデニム』

藤原裕／著

KADOKAWA 2022.4 (589.27) 本館所蔵

1950年代、デニム姿の白洲次郎の写真。スティーブ・ジョブズの写真に見るドレスコードの変化。価値のあるデニムのディテールとは。デニムの歴史と社会情勢が無縁でないことも含め、ヴィンテージデニムの魅力だと感じる趣味の一冊です。

◇一般書◇



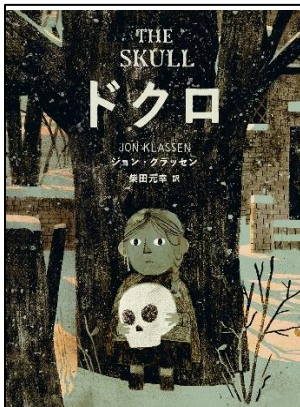
『さんかくキモノのスズメ』洋服の上にもそのまま着るだけ

さんかく／著

主婦と生活社 2024.4 (593.8冊) 二丈館所蔵

着物を着たいけれど、格式を考えてしまってしり込みしてしまう。準備や着付けがたいへんでなかなか手が出ない。そんなあなたへ、洋服の上から着付ける着物で気軽におしゃれに楽しんでみませんか。

◇一般書◇



『ドクロ』

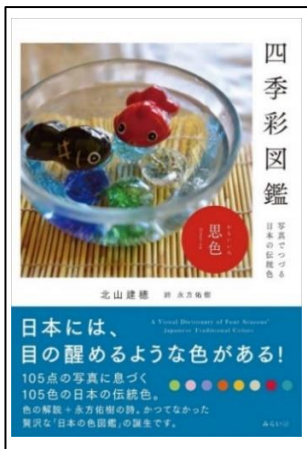
ジョン・クラッセン／著 柴田元幸／訳

スイッチ・パブリッシング 2024.4 (726.6) 本館所蔵

何かから逃げてきた少女が夜通し走り続け、たどり着いた先は礼儀正しいドクロが住む古い屋敷。そこで二人に起こる恐ろしい出来事とは…。思わずゾゾゾとする大人の絵本です。

この本が誕生するきっかけになったあとがきも必読！

◇一般書◇



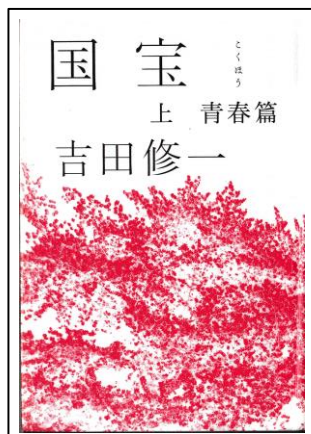
『四季彩図鑑』写真でつづる日本の伝統色

北山建穂／著 永方佑樹／詩

みらいパブリッシング 2021.5 (757.3#) 本館所蔵

「色」にひとつひとつ名前があるならば、まずその「色」を見出すことに驚嘆せざるを得ず、そしてその「色」にこんなにも素敵な名前を付けることにも…！思色、紅掛空色、花緑青…ページを開けば静謐な写真と相まって、魅了されるに違いない！

◇一般書◇



『国宝』上：青春篇 下：花道篇

吉田修一／著

朝日新聞出版 2018.9 (F31・2) 二丈館所蔵

九州に名を馳せた任侠一家の出ながら、上方歌舞伎の道に進む事になった喜久雄、そして梨園の御曹司・俊介。異なる生い立ちと才能を持つ2人が必死に歌舞伎に食らいつき、情熱を注ぐ姿に我々は魅了される事、間違いなし。

◇YA (中高生) ◇



『部活動にうちこむ』中高生のためのブックガイド

佐藤理絵／監修

日外アソシエーツ 2022.6 (Y028#) 本館所蔵

これから部活を選ぶ人、現在部活動に励んでいる人、部活動をサポートするおとなにお薦めする1冊です。技術向上やメンタル強化、栄養学、進路を考えるための本、小説や漫画など部活動に関する本が多角的な視点から紹介されています。

◇YA（中高生）◇



虹いろ図書館のへびおとこ

櫻井とりお／著

河出書房新社 2019.11 (YFサ) 本館所蔵

古い虹色図書館にはみどり色の司書がいて、不登校の女の子・謎の少年そしてたくさんの本。人と本の出会いがみんなの心を変えていく。虹色図書館シリーズは見習い司書犬上君の成長物語でもあるのです。

◇YA（中高生）◇

出版社の都合により
書影掲載不可

『透明なルール』

佐藤いつ子／著

KADOKAWA 2024.4 (YFサ) 志摩館所蔵

10代の多感な時期の生きづらさやモヤモヤした感情をうまく表現した物語。ちょうど年頃の娘におすすめしたくなった本。「自分の気持ちに素直に生きていいんだよ」と優しく包み込むような1冊になってくれたらいいな。

◇YA（中高生）◇

出版社の都合により
書影掲載不可

『キノの旅』

時雨沢恵一／著

メディアワークス 2000.7 (YBFシ) 本館所蔵

喋るモトラド（二輪車）と主人公キノ。旅をする間に会う様々な人、国、世界観。物語を読了の際は少し世界が違って見えるかもしれません。—世界は美しくなんかない。そしてそれ故に、美しい—（小説内より一部抜粋）

◇YA（中高生）◇



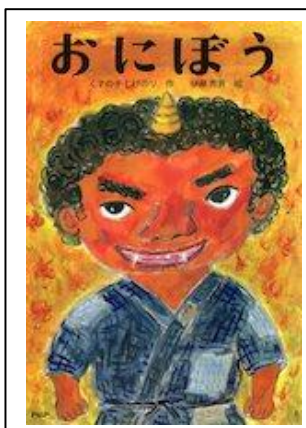
『どこからも彼方にある国』

アーシュラ・K. ル＝グイン／著 中村浩美／訳

あかね書房 2011.2 (Y933ル) 本館・二丈館・志摩館所蔵

心の声にじっと耳を傾け、それに従うのは難しい。17才ならばなおさら。それでも自分と、誰かと語らう事で、迷い道に灯がともる。ページをめくる度にほろにがい若さがあふれる、これは「人間」を味わえる本です。

◇児童◇



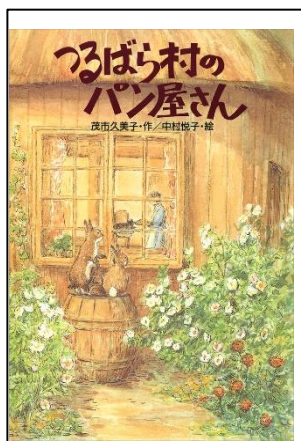
『おにぼう』

くすのきしげのり／作 伊藤秀雄／絵

PHP研究所 2016.10 (913く) 本館・二丈館・志摩館所蔵

鬼の子おにぼうは山で暮らしていましたが人間の撃った鉄砲で母を亡くし、寂しくて山を下りていきました。人間と友達になろうとしたおにぼうに人間たちのしたことは？おにぼうの優しく勇敢な行動に涙が止まりませんよ。

◇児童◇



『つるばら村のパン屋さん』

茂市久美子／著 中村悦子／絵

講談社 1998.2 (913モ) 本館所蔵

くるみさんはつるばら村で宅配パン屋さんをしていますが、なかなかお客さんは来ません。そんなある日、不思議なお客様からの注文がきて...？
思わずパンが食べたくなるファンタジー。

◇児童◇



『飛べないハトを見つけた日から』

クリス・ダレーシー／作 相良倫子／訳 東郷なりさ／絵
徳間書店 2021.11 (933ダ) 志摩館所蔵

12歳のダリルが公園でレースバトを保護します。保護したハト、チェロキーを助けるため、気難しいハトの飼育者ダッキンズさんにもどンドン質問するダリル。大好きなものとの出会いが、少年の世界をぐんぐん広げる物語は何歳の方にもおすすめ。

◇児童◇



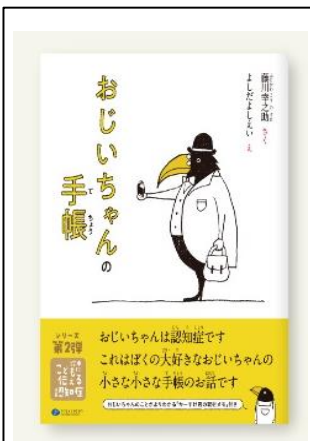
『ついてくる』

小川育／作・絵

教育画劇 2021.6 (Eオ) 二丈館所蔵

とってもこわいののに笑っちゃう、この絵本はそんな本です。夕闇の中、家路をたどる男の子。後ろから何かがついてくるような…。そしてお墓にさしかかると……。！！みんなも、男の子と一緒にドキドキしてね。

◇児童◇



『おじいちゃんの手帳』

藤川幸之助／さく よしだよしえい／え

クリエイツかもがわ 2020.5 (Eヨ) 本館所蔵

おじいちゃんの手帳には、家族の名前やお仕事のスケジュールが書いてある。朝、時々スーツを着て出かけるおじいちゃん。もうお仕事をしていないのに…。認知症になってしまった方への理解が深まる優しい絵本です。